

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	防犯対策推進事業		
事業担当	防災危機管理部 危機管理課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：警察・防犯協会・自治会等】		
	目的・目標		事業の概要
市民・警察・行政が連携し、防犯に対する啓発活動等を実施することにより、市民の防犯活動や防犯対策に対する認識が高まっています。		防犯意識を高揚し、犯罪を未然に防止するため、関係団体と連携して地域安全運動等を実施します。また、看板やチラシの配布等、地域防犯活動を推進します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	市民・警察・行政が連携した地域安全運動実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	3	3	3		
	実績	4	4	3		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	犯罪発生件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	3,400	3,400	3,000		
	実績	2,896	2,369	2,417		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
地域安全運動を計3回実施したほか、地域見守り花植え活動を3地区で実施しました。刑法犯認知件数は、前年比で48件の増と若干増えましたが、ほぼ前年並みに推移しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	近年の犯罪の多様化などから、市長への手紙などで防犯対策強化の要望が寄せられています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続的に活動していくことで、市民の防犯意識が高揚し、犯罪の減少が期待できます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民主体の防犯協会が中心になって活動を展開しており、住民自治の観点から妥当性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	防犯協会や警察、及び多くの関係者が参加することで、効果的に事業が展開できています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 近年、自転車盗は、駅周辺では駐輪場整備が進んだことで、減少傾向にある一方で、自宅での被害が増加してきています。また、空き巣やひったくりも周辺市町と比べて依然として多い状況であり、駅周辺だけではなく地域ごとに窃盗犯対策を進めていく必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		地域安全推進大会、防犯啓発活動の実施	地域安全推進大会、防犯啓発活動の実施	地域安全推進大会、防犯啓発活動の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	1,747	1,620	1,748
事業費 (A)		1,747	1,620	1,748
執行率 (%)		95.94	88.96	87.84

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 駅周辺で実施している防犯キャンペーンの他に、防犯協会各支部で取り組める地域見守り花植え活動の促進や、平塚警察署と連携による防犯教室の開催などにより、地域の防犯力の向上を目指します。
<b>課長コメント</b> 防犯対策を実のあるものにするためには、犯罪は身近でも起きるという危機感を市民に持ってもらい、自衛の対策を常にとっていただくことが大切です。今後とも住民自治の視点に立ち、自治会・防犯協会・防犯協会各支部及び警察と連携し、市民主体の啓発活動を進めてまいります。